

教科目名 英語 LL (English LL)

学科名・学年 : 全学科 1年

単位数など : 必修 1単位 (EC前期1コマ, MS後期1コマ, 授業時間 19.5時間)

担当教員 : 藤原宏司

授業の概要			
英語の4技能の中でも特に「聴く力」・「話す力」に重きを置き、演習形式でコミュニケーション能力を身につかせる。基本的な発音練習からはじめ、徐々に長文に慣れさせる。定期試験は行わず、授業中の評価テスト(1~10)により評価する。			
達成目標と評価方法			大分高専目標(G2)
(1) 発音記号を意識し、正しい発音ができ、聞き取れるようになる。(評価テスト)			
(2) 毎回の演習を通じて、自然な速度の対話が聞き取れ、理解できるようになる。(演習・評価テストの復習)			
(3) 毎回の演習を通じて、ACEテスト等のリスニング問題に対応できるようになる。(演習・評価テスト)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	オリエンテーション 発音記号(母音)	授業の進め方・テスト方法・評価方法の説明、発音練習。	
2	LISTENING TRIAL 1 発音記号(子音)	復習、リスニング演習、発音練習。	【評価テスト】
3	LISTENING TRIAL 2 評価テスト1	(3回~12回) 復習(前回の評価テストの解説)、リスニング演習、評価テスト。	【テスト1】 点
4	LISTENING TRIAL 3, 4 評価テスト2	(リスニング演習1~20は、評価テストのための練習用の問題であり、直接評価の対象にはならない。)	【テスト2】 点
5	LISTENING TRIAL 5, 6 評価テスト3		【テスト3】 点
6	LISTENING TRIAL 7, 8 評価テスト4		【テスト4】 点
7	LISTENING Trial 9, 10 評価テスト5		【テスト5】 点
8	LISTENING TRIAL 11, 12 評価テスト6		【テスト6】 点
9	LISTENING TRIAL 13, 14 評価テスト7		【テスト7】 点
10	LISTENING TRIAL 15, 16 評価テスト8		【テスト8】 点
11	LISTENING TRIAL 17, 18 評価テスト9		【テスト9】 点
12	LISTENING TRIAL 19 評価テスト10		【テスト10】 点
13	LISTENING TRIAL 20	(13回) 復習、リスニング演習、追加テストの実施について。	【理解の度合い】
履修上の注意		評価テストだけでなく、リスニング演習等にも真剣に取り組むこと。 テキストに付属のリスニングCDを、予習・復習に活用すること。 授業中の評価テストで評価するので、できるだけ欠席をしないように心がけること。	【総合達成度】
教科書		LISTENING TRIAL (stage 1) Basic Level 文英堂	
参考図書		理工系学生のための必修英単語「COCET 3300」 成美堂	
自学上の注意		既習の英文については、ナチュラルスピードでシャドウイングができるまで、自分のCDを使い練習すること。	
関連科目		英語 I A, 英語 I B, 英会話, 英語 II B	
総合評価		上記の達成目標について10回の評価テストの総得点を百点満点に換算し、総合評価60点以上を合格とする。40~59点の学生には、一度だけ追試験を実施した上で総合判定する。再試験は実施しない。	【総合評価】 点